

＜平成 26 年度＞

社会教育部の取り組み実績

社会教育課
文化財課
スポーツ振興課
中央図書館

■ 基本方針 ■

枚方市教育委員会は、「人とふれあい とともに学び 豊かな心を育む」～子どもたちの健やかな成長と学びを支え、社会を担う人材を育てる～を教育目標としています。（「枚方市教育委員会各部の運営方針」参照）

その中で社会教育部は、「学びを支え心をつなぐ社会教育の推進」、「歴史文化遺産の保存と活用」、「スポーツ活動の活性化」、「生涯学習を支援し、情報活用環境を高める図書館サービスの充実」を基本目標としています。

平成 26 年度は、「社会教育の推進」、「歴史文化遺産の保存・活用」、「スポーツ施策の推進」、「スポーツ施設の整備」、「市民の生涯学習の支援」、「図書館資料の計画的・系統的な収集」を主要施策とし、社会教育全般の推進を図ります。

I 重点施策・事業

◆社会教育の推進

子育てや親のあり方を問う家庭教育支援事業、暮らしに役立つ社会制度等についての情報や知識を学ぶ機会を提供する社会教育基礎講座等を通じて、人が地域で生きていくために必要な知識や技術を提供します。

実績

- ・ 思春期セミナー（7月）、七夕講演会（7月）、社会教育基礎講座（7・2・3月）、親学習講座（8・10月）、父親の家庭教育参加促進事業（8・2月）、教育講演会（10月 / P T A と共催）、親を考えるセミナー（3月）を実施し、市民が家庭や地域で生活する上で必要な基礎的な知識・技術の提供に努めた。

◆歴史文化遺産の保存・活用

①特別史跡百済寺跡再整備事業

平成 26 年度に整備工事の実施設計などを行い、遺跡保存に影響を及ぼす樹木の伐採などに着手します。

実績

- ・ 発掘調査報告書の刊行、整備の実施設計の完了及び樹木伐採の着手により、取り組みを進めることができた。

②文化財啓発普及事業

（東高野街道（出屋敷地区）整備事業）

東高野街道について、歴史的な佇まいを残す出屋敷地区の景観舗装を行うなど歴史の道として市民に広く周知します。



東高野街道（出屋敷地区）

実績

- ・ 市ホームページに紹介ページを掲載、文化財連続講座の実施により市民に周知した。また、整備の実施設計を完了した。

◆スポーツ施策の推進

トップアスリートとふれあう機会をつくることで子どもたちの夢を育み、青少年のスポーツへの関心を高め、夢と魅力あふれるまちづくりに寄与します。平成 26 年度は体操とソフトボールのオリンピック選手を招聘し、教室を開催します。

実績

- ・アテネ・北京オリンピックメダリストの上野由岐子選手を招いてのジュニアソフトボール教室（12 月）、ロンドンオリンピック出場の田中理恵さん、アトランタオリンピック出場の田中光さんを招いてのジュニア器械体操教室（2 月）を開催した。

◆スポーツ施設の整備

①春日テニスコートの整備

平成 27 年度供用開始に向けて、準備を進めます。

実績

- ・平成 27 年度中の供用開始に向けて、準備を進めた。

②陸上競技場の整備

（公財）日本陸上競技連盟公認の競技場として、公認継続に必要な補改修を行います。



総合スポーツセンター 陸上競技場

実績

- ・第 3 種公認に必要な補改修や備品の整備を行い、公認検定を受け、平成 32 年 3 月まで 5 年間の公認継続となった。

③東部スポーツ公園野球場の整備

硬式野球もできる野球場の平成 27 年度供用開始に向けて準備を進めます。

実績

- ・東部公園野球場（ひらかた東部スタジアム）の整備を進め、平成 27 年 4 月に供用を開始した。

◆市民の生涯学習の支援

①生涯学習施設と図書館の効率的な管理運営

生涯学習施設と図書館の複合施設については、市民サービスの向上をめざした指定管理者制度導入に向けた準備を進めるため具体的な課題の整理を行います。

実績

- ・平成 28 年度に蹉跎・牧野の 2 複合施設へ先行導入し、平成 30 年度にこの 2 施設を含む複合施設 6 ヶ所の指定管理者制度を導入する方針を定めた。

②図書館サービスの充実

図書宅配サービスの実施により市民の利便性向上を図ります。また、図書館来館のきっかけづくりとなる事業の開催など、図書館の魅力を積極的にアピールし、利用者の拡大を図ります。

実績

- ・図書宅配サービスを 7 月から実施し、送料軽減等の利用登録者（障害者等）15 人と、一般の利用登録者 8 人に対して合計 389 冊の貸出を行った。
- ・「はたちのつどい」での利用案内配布や、ロビーコンサート、「としょかんスタンプラリー」の開催、自動車文庫のイベント出張など、来館促進事業を展開した。
- ・学校と連携して第 3 回中学生の調べ学習コンクール（696 人参加）、第 2 回ひらかた朗読大会（109 人参加）を実施した。
- ・秋の読書週間には「世界のバリアフリー絵本展」（785 人参加）や「多言語で楽しむおはなし会」（213 人参加）を開催した。

③学校図書館支援

小中学校に対して、市立図書館資料の団体貸出、学校図書館支援ボランティアの育成等のほか、市立図書館から学校図書館への職員の派遣や司書教諭等への研修を行い、学校図書館支援を推進します。

実績

- ・読書支援用図書や調べ学習用図書の団体貸出を希望する小中学校に団体貸出を行うことにより、学校への読書活動や学習活動の支援を行った。
- ・6月から実践研究校区の3中学校（桜丘、長尾、第四）へ学校司書を派遣し、各中学校における学校図書館整備のための支援を行った。
- ・学校への団体貸出図書配送事業（試行）を9月から開始し、実践研究校区の7小学校と事業参加希望の小学校7校に対し、業務委託による読書支援用図書の配送を行い読書活動の支援を行った。

◆図書館資料の計画的・系統的な収集

図書・雑誌・オーディオビジュアル資料・電子情報等の幅広い情報を計画的・系統的に収集し、提供します。

実績

- ・小説、郷土資料、洋書、大活字本、絵本等、また、入門書から専門的な資料まで、幅広い分野にわたる資料を新しく収集し、提供した。内訳は、購入数 36,124 点（一般 25,870※内オーディオビジュアル 170、児童 10,254）、寄贈 12,506 点（一般 10,848※内オーディオビジュアル 180、児童 1,658）。

II 行政改革・業務改善

<行政改革実施プラン（前期）の改革課題>

改革課題	取り組み内容・目標
19.市有財産等の有効活用 ④野外活動センター活用計画の策定	進入路整備を踏まえた野外活動センター活用計画の策定に取り組む。

実績

- ・野外活動センターの本来の設置目的である青少年の健全育成を考慮して、学校キャンプを支援する事業を試行し、市立小学校10校がデイキャンプで利用した。引き続き学校利用の促進と一般市民への野外活動の魅力発信を行うため、平成27年度からの取り組み方針を決めた。

改革課題	取り組み内容・目標
27.市内スポーツ施設の管理運営体制の一元化	スポーツ施設の管理運営体制一元化に向け諸課題の整理を行う。

実績

- ・社会体育施設と公園運動施設の新予約システムを導入し、使用申込期間の統一化など、施設の利便性向上を図った。

改革課題	取り組み内容・目標
28.生涯学習施設と図書館の効率的な管理運営	指定管理者制度導入に向け、課題を抽出し、解決策を検討する。

実績

- ・平成28年度に蹉跎・牧野の2複合施設へ先行導入し、平成30年度にこの2施設を含む複合施設6ヶ所の指定管理者制度を導入する方針を定めた。

改革課題	取り組み内容・目標
29.外郭団体等における中期的な「経営プラン」の策定	<p>(公財)枚方体育協会が策定した「経営プラン」(H24~H28)の検証を踏まえ、行政と体育協会の役割分担等について、方向性の調整を行う。</p> <p>(公財)枚方市文化財研究調査会に対しては、27年度までに「経営プラン」を策定するようはたらきかけるとともに、行政との役割分担など、課題解決に向け検討する。</p>

実績	
<ul style="list-style-type: none"> ・(公財)枚方体育協会が策定した「経営プラン」(H24~H28)の検証を踏まえ、行政と体育協会の役割分担等について、協議・調整を行い、次期プラン作成に係る方向性の確認を行った。 ・行政との役割分担などの課題解決に向け検討中のため「経営プラン」策定には至らなかった。本市文化財行政の再編の中で団体のあり方を検討したうえで、「経営プラン」策定をはたらきかける。 	

改革課題	取り組み内容・目標
44.施設の使用料の見直し ③市立学校園の施設開放事業	<p>市立学校園施設の使用に係る「市立学校園施設開放事業」(管理部所管)と「市立小中学校体育施設開放事業」(社会教育部所管)との事業統合及び電気使用料等の実費相当額の負担について、課題整理を行い、具体化の検討を進める。</p>

実績	
<ul style="list-style-type: none"> ・市立学校園施設開放事業と市立小中学校体育施設開放事業について、使用目的や使用対象施設による区分の整理・明確化や、実費相当額の徴収方策等についての方向性を取りまとめた。 	

<事務事業総点検に係る対応>

事務事業	取り組み内容・目標
枚方体育協会体育振興事業補助事業	<p>補助金の使途の明確化を図るとともに、市民スポーツ振興の目的に沿った事業効果がより一層図られるように適切に関与していく。</p>

実績	
<ul style="list-style-type: none"> ・補助金の交付にあたって、補助対象となる市民スポーツ振興を目的とした事業の計画や報告がわかりやすいものとなるよう検討を行った。 	

事務事業	取り組み内容・目標
スポーツ振興課所管体育施設維持管理事業	<p>体育施設の管理業務における効率化を検討するとともに、モニタリング等を通して適切な管理運営を行っていく。</p>

実績	
<ul style="list-style-type: none"> ・体育施設の管理業務の効率化を図るため、伊加賀スポーツセンターについては、平成26年度から指定管理者制度を導入し、モニタリング等を通じて適切な管理運営を行った。 	

<業務改善のテーマ・目標>

テーマ	取り組み内容・目標
市民対応における市民満足度の向上	<p>市民等からの社会教育分野における専門的な問合せに対し、各分野において所属職員が同じレベルで対応できるよう引き続き知識や情報の共有化を図る。</p>

実績	
<ul style="list-style-type: none"> ・専門的な問い合わせ内容とその回答について情報共有を行い、所属職員の力量のボトムアップを図った。 	

テーマ	取り組み内容・目標
省エネ意識の向上	普段から自ら省エネを意識し、事業やイベントにおいても省エネ行動を励行するとともに、所属職員が省エネ行動を励行するよう注意を促す。

実績

- ・日常の事務執行において省エネ行動を徹底するだけでなく、イベント時においても、開催間際まで点灯しない・資料等の作成時に適正数を見極め、無駄な印刷をしない・枚数が多いときは印刷機を利用する等、細部にわたり省エネ行動を励行した。

Ⅲ 予算編成・執行

- ◆文化財保存事業に国庫補助金の活用を図ります。(5件 2006万円)

実績

- ・文化財保存事業に国庫補助金の活用を図った。(4件 1820万円、1件は区画整理事業が遅延したため文化財保存事業が先送りとなる)

- ◆伊加賀スポーツセンターに指定管理者制度を導入し、管理運営の効率化を図ります。(指定管理料 5206万円)

実績

- ・伊加賀スポーツセンターに平成26年度から指定管理者制度を導入し、管理運営の効率化を図った。(指定管理料 5355万円)

Ⅳ 組織運営・人材育成

- ◆文化財行政やスポーツ行政、図書館行政など様々な分野を担当する社会教育部において、各分野の職員が日常業務を通じて、担当する分野の専門的な知識や技術の習得を行い、資質の向上を図ります。また、質の高い市民サービスを提供するため、職員研修を実施するなど人材育成に努めます。

実績

- ・現在まで培ってきた専門的な知識・技術の継承に向けて、経験豊富な職員が経験の浅い職員に対して指導を行うとともに、各分野の専門的な知識・技術の向上のため、各種研修を行ったり、他の研修にも積極的に参加した。

- ◆職員一人ひとりが普段から市民目線に立った事務改善を意識し、時間外勤務の縮減など、さらに効果的・効率的な事務執行に努めます。

実績

- ・職員一人ひとりが説明責任を意識した市民への対応を心がけるとともに、業務の重要性や緊急性に対応した事務執行に努めた。

Ⅴ 広報・情報発信

- ◆ホームページの充実

わかりやすい表現、事業決定後の迅速な掲載を心がけるなど、社会教育部関係の事業を効果的にPRするための工夫を引き続き検討実施します。また、開催結果などをタイムリーに伝えるなど、ホームページの魅力アップを図ります。

実績

- ・事業PRにおけるホームページの活用を積極的に行い、事業決定後の迅速な掲載とわかりやすい表示に努めた。また次に繋げるため、事業終了後の様子や参加者の感想等も速やかに掲載を行った。

- ◆効果的な事業PR

広報やホームページだけでなく、関連事業や他の市主催事業など様々な場面を通じて、さらなる事業宣伝活動を行います。また、マスコミへの情報提供を積極的に行い、「教育文化都市ひらかた」を広く発信していきます。

実績

- ・市の広報媒体だけでなく、地域情報紙(誌)等マスコミへの情報提供を積極的に行い、事業PRに努めた。また当日にFMひらかたやケーブルテレビ等に出演し、事業を広く発信した。